

## 新着図書



### 「天下を計る」

岩井 三四二 (著) PHP研究所 (出版)

この男なくして秀吉の天下取りはなかった。秀吉の天下取りを裏から支え、家康の心胆を寒からしめた太閤の金庫番・長束正家の生涯を描く。

### 「台所のラジオ」

吉田 篤弘 (著) 角川春樹事務所 (出版)

男も女も年寄りも子供も、すべてのひとを笑顔にできるのは、旨いものだけだ…。滋味深く静かな温もりを胸に灯す、12の美味しい物語。

### 「九十歳。何がめでたい」

佐藤 愛子 (著) 小学館 (出版)

御年九十二歳、もはや満身創痍の佐藤愛子が、ヘトヘトでしぼり出した怒りの書。気持ちがスカッと晴れると大反響。

### 「ちっちゃいさん」

イソール (作) 宇野 和美 (訳) 講談社 (出版)

ちっちゃいさんは、はだかんぼうでやってくる。みんなが気付くように、ンギャー、ンギャーと泣きながら。リンドグリーン記念文学賞受賞作家による、育児書よりもあかちゃんのことわかる絵本。

立科町公民館 (教育委員会 社会教育人権政策係) 有線 4000

## 休室のお知らせ

中央公民館並びに図書館は、お休みさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

### 年末年始休業

12月29日(木)～1月3日(火)

## お知らせ

「ちゅうりっぷの会」による

## 乳幼児のためのおはなし会

日時 12月21日(水) 午前10時30分～

場所 中央公民館 視聴覚室

対象 0歳児～

大型絵本・パネルシアターなど親子でお楽しみください!

## 図書館利用案内

### 開室時間

●月曜日～土曜日 午前9時30分～午後6時  
(土曜日は午後5時)

●日曜・祭日 午後1時～午後5時

\*お一人 5冊まで 2週間借りられます

## 第68回人権週間

自由及び平和の基礎となる基本的人権を確保するため、世界の全ての人々と全ての国々とは達成すべき共通の基準として1948年(昭和23年)12月10日の国連総会において、「世界人権宣言」が採択されました。

国連は、世界人権宣言採択を記念して、採択日である12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

日本でも12月4日から10日までの一週間を「人権週間」として、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重意識の普及高揚を図るため、全国各地で啓発活動が行われます。

当町では、一人々の人権意識の向上を図ることを目的に、毎年各分館において「分館人権学習会」を開催し、参加者みんなで人権について考える機会を設けています。

また、「人権週間」に併せ、12月3日(出)午後1時から、老人福祉センターにおいて「第39回人権を考える町民大会」を開催します。

講師に、全国隣保館連絡協議会常任顧問の中尾由喜雄氏をお迎えし、「人権文化豊かなまちづくりに向けて～阪神・淡路大震災が教えたもの～」と題しご講演をいただきます。当時、中尾氏が勤務されていた隣保館は、阪神淡路大震災の直後から400人を超える住民の避難所となりました。講演はそのときの避難所での出来事に基づいたお話で経験者にしかわからない、貴重で興味深い内容です。大勢の皆さんにぜひお聞きいただきたいので、ご家族やお友達とお誘い合わせの上、会場へお出掛けください。

21世紀は人権の世紀です。すべての人々の人権が尊重され、平和で明るい町づくりをみんなの力で実現しましょう。